Information 1

東広島医療センターでアメリカ心臓協会(AHA)の救急蘇生講習会(BLS・ACLS)を始めました

心臓血管外科　佐藤　克敏

救急医療においては、効果的な救命活動が行われるかどうかが患者生存の可能性を高める上で重要です。そのためには、学問的根拠に基づいて標準化された手順とそのたゆまない訓練が必要です。日本ACLS協会は、アメリカ心臓協会(American Heart Association)と正式に提携した国際トレーニング組織で、アメリカ心臓協会の一次救命処置をBLS(Basic Life Support)、二次救命処置をACLS(Advanced Cardiovascular Life Support)、PALS(Pediatric Advanced Life Support)、また一般向けのハートセイバーAEDの受講者、BLS・ACLS・PALSインストラクター、トレーナーの養成を行っています。国内において各地域で講習会が開催されており、広島県でもAHA広島トレーニングサイトにより県内の各医療機関などで開催されています。

当院でも、医療安全研修の一部として2年前から一次救命処置(BLS)の講習会を開催してきました(広報誌大沢田120号を参照ください)。しかし、院内のみの活動であったため院外の希望者は参加できず、正式な資格を取得することもできませんでした。院内の講習会は今までどおり継続していきますが、さらに院内外からこの地域で標準的な講習を受け、資格を取得できるように、地域の救急医療の中核を担う当院の活動の1つとして、日本ACLS協会の活動に参加させて頂くことにしました。

この度、呉共済病院の石川先生、東広島消防局の有重さん、市川さん他、AHA広島トレーニングサイトの皆様の御尽力により当院での開催が実現しました。第1回目として9月10日(日曜日)にBLSヘルスケアプロバイダーコースを当院の研修センターで開催しました。今回は院内だけで24人(研修医：7人、看護師17人)の希望があり、院内の受講者だけでの開催となりました。3人組の8つのブースで、通常の1日コースで行いました。初回でアクシデントも予想されましたが、呉共済病院の石川先生の司会と広島トレーニングサイトのインストラクターの皆様による指導で、トラブルなく成人、小児、乳児に対するAEDを用いた一次救命処置、窒息の処置などの講習を受け、全員BLSの資格を取得して終了しました。

今後は、AHA広島トレーニングサイトの御協力で、BLSだけでなくACLSやその他のコースを当院で定期的に開催していく予定です。まずは次回12月9日(土曜)と10日(日曜)で、第2回目のBLSヘルスケアプロバイダーコースと、第1回目のACLSヘルスケアプロバイダーコースを開催する予定です。次回の12月のコースからは全て一般公募としますので、日本ACLS協会のホームページ(http://acls.jp/)から医療従事者ならどなたでも応募できます。2018年以後は希望者の数で各コースの年間開催数を調整していく予定です。当院としては開催を支援していきたいと思っておりますので、皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

※御案内

当院のホームページ(https://www.hiro-hosp.jp/)に当院で開催する日本ACLS協会の救急蘇生講習会(BLS・ACLS)の情報提供のコーナーを開設する予定です(準備中)。開催予定や実施状況などをみることができるようになりますので御利用ください。

※お問い合わせ

当院で開催する日本ACLS協会の救急蘇生講習会(BLS・ACLS)は、心臓血管外科：佐藤克敏を責任者として行っております。お問い合わせがございましたら佐藤まで御連絡下さい。

今回の講習会の司会をして頂いた呉共済病院の石川雅巳先生

今回の研修センターでの講習会風景

成人の人形モデルでの AED(電気ショック) を用いた
一次救命処置の講習

乳児の人形モデルでの一次救命処置の講習

窒息の人形モデルでのハイムリッヒ法
(腹部突き上げ法) の講習